

NEWS

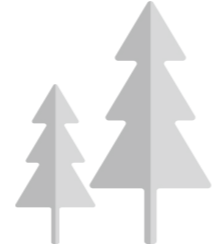
## 新たな公園について考える / 富まちミーティング【公園編③】を開催しました！

和泉市では、令和2年3月に策定した「和泉市富秋中学校区等まちづくり構想」に基づき、現在の旭公園を移設し、現幸団地付近（現幸小学校の向かい）に、新たな都市公園を整備するための計画を行っていきます。

富秋中学校区等まちづくり検討会議\*では、公園の計画にみなさんの意見を反映していくため、和泉市と協力して公園について考える「富まちミーティング\*\*【公園編③】」を開催しました。全3回の富まちミーティング【公園編】にご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

\*「富秋中学校区等まちづくり検討会議」とは、「まちづくり構想（地域案）」の実現をはじめ、将来にわたって住み続けたい魅力あるまちづくりを推進するために、地域の住民の方などにより設立された組織です。

\*\*「富まちミーティング」とは、構想実現に向けて、皆さんと情報共有や意見交換を行う場です。



「和泉市富秋中学校区等まちづくり構想」は、このQRコードを読み取ればご覧いただけます。

「富まちミーティング【公園編③】」の内容の紹介は、このQRコードを読み取ればご覧いただけます。

## 富まちミーティング【公園編③】ではこんなことを話し合いました！

### 1. 計画案の確認

これまでの富まちミーティング【公園編】の内容を踏まえた基本計画案について意見交換を行い、骨組みとなる内容について確認しました。

#### 確認した主な計画のポイント

- まちからアクセスしやすく、見通しのよい明るい緑に囲まれた公園を計画します。
- キッチンカーの出店や地域の様々なイベントなどでも活用しやすい公園を計画します。
- 安心して歩行でき、休憩や健康づくりもできる周遊園路を計画します。
- 地域でルールを考え、子どもたちが自由に遊べる空間を計画します。
- 幼児が安心して遊べる場所、親が見守れる場所を計画します。
- 日常にも利用でき、災害時に役立つ施設を計画します。

## 2. 管理運営について

これまで検討を行ってきた自由度の高い公園を実現するための管理運営方法について、4つの班で議論しました。

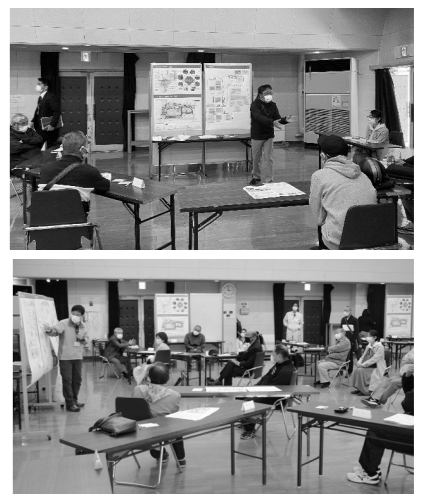
### 管理運営の主体やしぐみについて (誰がどのように関わっていくか)

- 〈管理運営の主体やしぐみについての意見の一部〉
- ・行政と地域が協働で管理運営を行うべき。管理について行政と地域の役割分担を話し合う場も必要。
  - ・自治会・学校・NPOなど、さまざまな個人や団体が集まり、公園について話し合う仕組みを立ち上げてはどうか。
  - ・新しい団体を立ち上げる場合、既存の自治会と対立するような会になってはいけない。
  - ・子ども自身（自分たちでつくる）が運営するようになる仕組みも考えてはどうか。
  - ・まち全体の活動として、公園のルールや、やってみたいことなどをみんなで考えればよいと思う
  - ・利用者や住民に、みんなが声かけをすることが良いと思う。SNSを活用して様々な人の意見を聞き入れてはどうか。
  - ・認定こども園等での出前保育、園庭解放の出張版のようなものや、プレーパークを行うなどは考えられないか。

### 今後考えていく課題 (どんなルールやマナーが必要か)

- ①今考えられる課題やルールについての意見の一部
- ・美化 : ゴミ箱を設置する場合、管理・清掃のルールとして月に1回程度、みんなで掃除をしてはどうか。
  - ・ボール遊び : 年齢層、時間帯や場所を分ける等のルール、大人のゴルフを禁止
  - ・夜間利用 : 照明、防犯カメラも必要。深夜に集まり騒ぐ事やたき火等、危険な行為は禁止。
- ②ルールの運用についての意見の一部
- ・サインの提示だけではなく、地域で見まわることが必要。
  - ・大人がどこまで口を出すか、子どもの考えも大切にしたい。
  - ・ゲートボールなどは毎回許可を取らなくてもよいようにしたい。
  - ・利用が重複するときは、話し合いでルールを考える。
  - ・違反した人との諍いの仲裁等、行政のカバーも必要だと思う。
  - ・ルールを協議することで、マナーとモラルの啓発につなげたい。

- 禁止ではなくルールづくり  
何もかも禁止するのではなくルールを守ることによって自由度の高い公園にしたい。ルールは、作って看板を設置するだけでなく地域で見守ってほしい。
- 集まり、公園について話し合う「場」  
自治会、学校、NPO等、様々な団体や、新たに住まれる方々が集まり、公園について考える場が必要。行政との連携やSNSを使った情報発信も必要。
- さまざまな団体との連携  
既存の団体だけで役割分担する形では難しい。話し合いの「場」を継続していくことが大切で、その上で、既存の団体とどのように連携していくのか、慎重に検討していく必要がある。



## 3. まとめ・今後に向けて

### 富まちミーティングで地域の皆さまから頂いたご意見をふまえて

富まちミーティングで公園のコンセプトが見えてきましたが、どういった公園をつくるのかということだけではなく、出来た公園をまちとしてどう活用していくかが大切になります。これから新たに整備される施設や既存の施設とともに、まちの資源として活用し、まちに根ざした、まちのシンボルとなる公園となるためには、行政と地域が同じ方向を向いて役割分担を行い、協働で取り組んでいく必要があります。検討会議ではこの公園に留まらず、富秋中学校区をより魅力あるまちにするため、今後も地域の皆さまと議論しながら、取り組んでいきます。

問合せ・連絡先  
和泉市都市デザイン部都市整備室公園緑地担当  
【メール】 kouryoku@city.osaka-izumi.lg.jp 【電話】 0725-99-8139

富まちミーティング【公園編】は全3回で終了いたしました。今後、これまでにみなさまと議論した内容を踏まえて、和泉市が基本計画をとりまとめる予定です。引き続きよろしくお願いいたします。